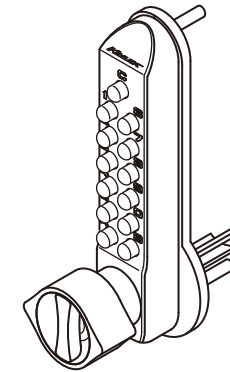


KEYLEX 500[®]

キーレックス 500-PY
玉座取替【タテ付け仕様】

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



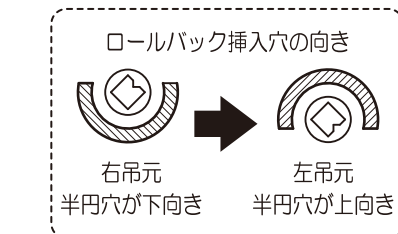
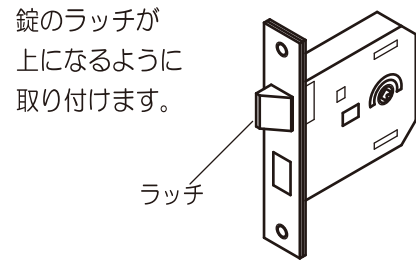
22275Y

防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

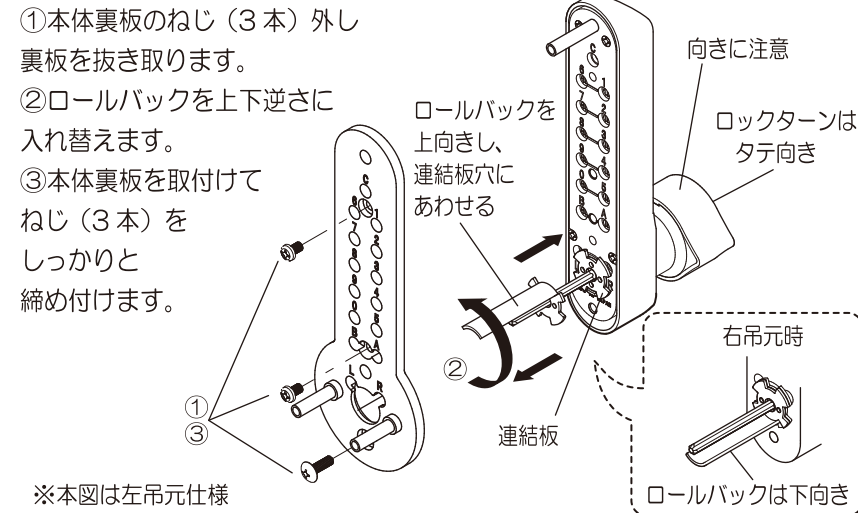
〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

左吊元時の変更と確認

【1：錠を右吊元時と上下逆さにする】



【2：キーレックス本体のロールバックを上下逆さにする】



記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス500は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押す設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的にし締めしてください。
- 他の用途への使用
 - ノブにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
 - キーを施解錠以外の目的に使用しないでください。曲がり、傷が生じ、施解錠に支障をきたします。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドラッチ・テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ノブの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - キーは長沢純正キーを使用してください。
 - キー及び錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



取り付けに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作（外開き）

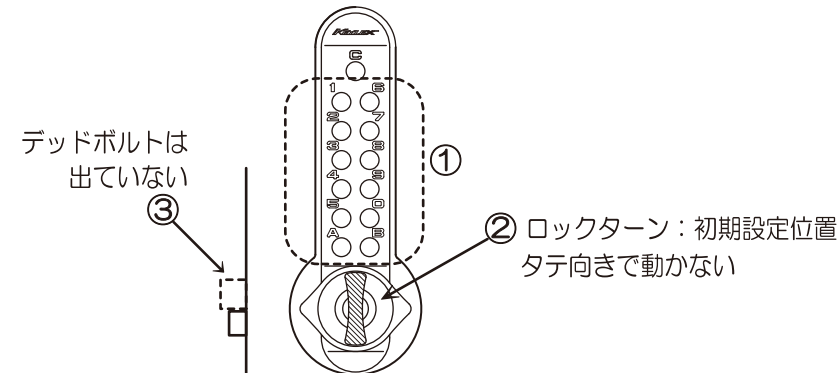
※内開きは対称操作となります。
ロックターン作動に関しても回転方向が逆になります。

ご使用前に確認してください

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンが初期設定位置にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

デッドボルトは
出ていない

※ 図は右吊元仕様です（デッドボルト：上）
（ラッチボルト：下）



	右吊元（外開き）	左吊元（外開き）
--	----------	----------

施錠	室外側	室外側
	室内側	室内側

① ロックターンを戸先側に90° 回す（タテ→ヨコ）
② デッドボルトが出て施錠されます

① サムターンを戸先側に90° 回す（タテ→ヨコ）
② デッドボルトが出て、施錠されます

① ロックターンを丁番側に90° 回す（タテ→ヨコ）
② デッドボルトが出て施錠されます

① サムターンを丁番側に90° 回す（タテ→ヨコ）
② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠	室外側	室外側
	室内側	室内側

① C ボタンを押してください。
誤操作の記憶番号が解除されます

② 正しい記憶番号を押します

③ ロックターンを丁番側に回しきります（ヨコになる）
④ デッドボルトが収まり、解錠されます

⑤ ロックターンを90° 元に戻します（ヨコ→タテ）
ロックターンはタテ向きで動かない：初期設定位置

① C ボタンを押してください。
誤操作の記憶番号が解除されます

② 正しい記憶番号を押します

③ ロックターンを戸先側に回しきります（ヨコになる）
④ デッドボルトが収まり、解錠されます

⑤ ロックターンを90° 元に戻します（ヨコ→タテ）
ロックターンはタテ向きで動かない：初期設定位置

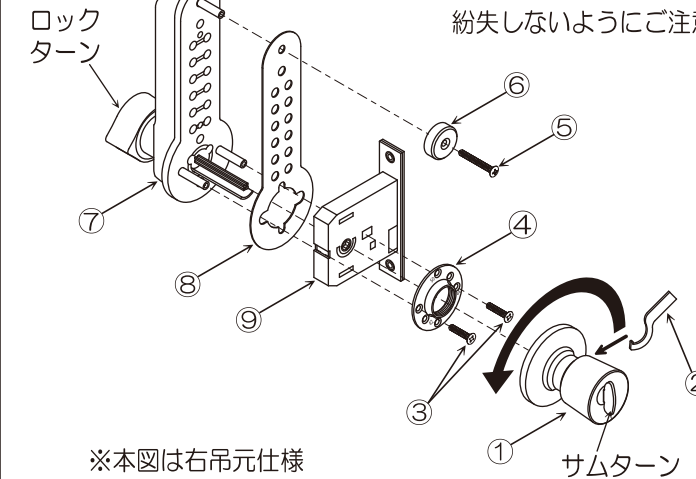
① サムターンを丁番側に90° 回す（ヨコ→タテ）
② デッドボルトが収まり、解錠されます

① サムターンを戸先側に90° 回す（ヨコ→タテ）
② デッドボルトが収まり、解錠されます

記憶番号の変更手順

【1】 本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっていること、ロックターンが初期設定位置（タテ向きで動かない状態）になっている状態で取り外します。取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。



※本図は右吊元仕様

- I：①室内側握り玉を取り外します。
- II：①握り玉の軸にある穴に②丸座固定レンチを挿し込み反時計回りに回し緩めて取り外します。
- III：③取付板固定ねじ（2本）と④取付板を取り外します。
- IV：⑤丸座固定ねじと⑥室内押え座を⑦キーレックス本体が落下しないよう注意しながら取り外します。
- V：⑧ゴムプレートと⑦キーレックス本体を落下に注意しながら⑨錠から抜き取ります。

【2】 本体裏側で記憶番号の設定変更をします

【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側のC ボタンを押します。
- ⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

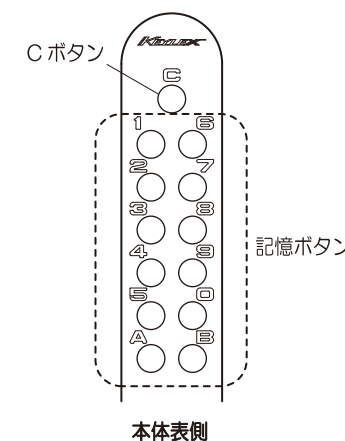
- ② 本体を裏返します。

【現在の記憶番号を解除】

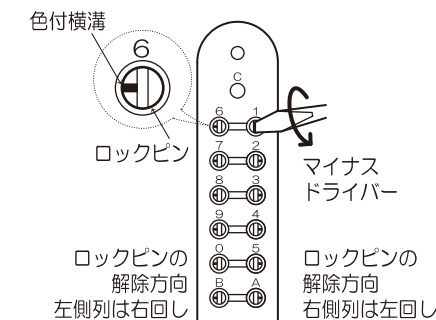
- ③ 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。（ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる）

【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。



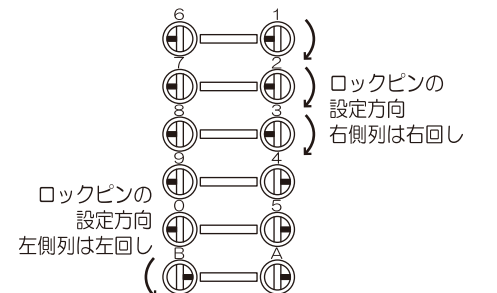
本体表側



本体裏側

- ④ 本体を表側にします。C ボタンを押し、ロックターンが動くことを確認します。

例：B 1 2 3



- ⑦ C ボタン+新しい記憶番号を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】 本体を取り付けます

本体を取り外したときと逆の順番で取り付けます。

取り付けの際、吊元を確認し、ロックターンの初期設定位置（タテ向きで動かない）と錠の解錠状態（デッドボルトが出ていない）を確認し、セットしてください。

角芯棒の赤色面と、錠のくぼみ部分をあわせて取り付けてください。

本体・室内座をセットし、それぞれ確実に取り付けてください。完了です。

角芯棒の赤色面と錠のカム穴凸部分をあわせて取り付け（図：右吊元仕様）

